

# REFEREE NEWS



公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

Apr. 2025

審判委員会ホームページ : <https://chiba-fa.gr.jp/13judge/>

年4回発行(1, 4, 7, 10月)



## ～新年度のご挨拶～



(公社)千葉県サッカー協会 審判委員会 委員長 堀川栄多

皆様、新年度を迎えるにあたり一言ご挨拶申し上げます。

まずは、昨年度、審判活動にご尽力いただいたすべての審判員の皆様、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。スポーツの公正さと安全を守るために、皆様が一つひとつの試合に真摯に向き合い、ルールを厳正に適用しながらも、競技者の気持ちに寄り添う姿勢を大切にされてきたことは、競技の発展に大きく貢献したものと確信しております。改めて、その努力と献身に敬意を表します。

スポーツを取り巻く環境は日々変化しており、審判員に求められる役割も重要度を増しています。ルールの改定や新たな技術の導入、さらには選手やチーム関係者とのコミュニケーションのあり方など、私たちが学び続け、成長し続けなければならない要素は多岐にわたります。その中で、私たち審判団は、ただルールを適用するだけでなく、競技の円滑な運営を支える存在として、より高い見識と判断力を備えていく必要があります。今年度は、特に「公平性」「透明性」「向上心」という3つの柱を掲げ、審判活動に取り組んでいきたいと考えております。

### 1. 公平性の徹底

審判の基本は、いかなる状況でも公平・公正に試合を裁くことです。当然のことながら、試合の流れや選手の心理状態など、さまざまな要因が絡み合う中で、常に冷静で中立な判断を下し続けることは容易ではありません。しかし、私たちの一つの判定が試合の流れを大きく左右することを自覚し、どのような場面でも公平性を貫くことが、選手やチーム関係者からの信頼につながります。今年度も、審判員一人ひとりが誠実な姿勢を持ち、適正なジャッジを心がけていきましょう。



### 2. 透明性の向上

近年、スポーツ界では「審判の説明責任」が重視されるようになってきました。野球のビデオ判定やバレーボールのチャレンジ制度など、選手や監督だけでなく、観客やメディアに対しても、判定の根拠を明確に伝えることが求められています。サッカーには導入こそされていませんが、ルールの解釈を統一し、審判団全体で共通認識を持つことが重要です。今年度は、勉強会や研修を通じてルールの確認や判定基準の共有を強化し、より一貫性のある判定を行えるよう努めてまいります。また、試合後の振り返りや意見交換を積極的に行い、より分かりやすい判定を目指していきます。



### 3. 向上心を持ち続ける

審判もまた、競技者と同じく「成長し続ける存在」でなければなりません。技術の進化や競技レベルの向上に対応するためには、私たち自身も研鑽を積み、より高度な判断力を身につける必要があります。今年度は、ルールの理解を深めることはもちろんのこと、試合の流れを読む力や、選手の心理学的に的確に把握する能力の向上にも力を入れていきたいと考えています。また、若手や女性、フットサル・ビーチサッカーの審判員育成にも力を入れ、経験豊富な審判が自身の知識や技術を伝え、次世代の審判を育てる環境を整えていきたいと思っております。



## 最後に

スポーツは「フェアプレー」が根幹にあります。選手は勝利を目指して全力を尽くし、監督やコーチはチームをより良い方向へ導くために尽力します。そして、私たち審判は、その競技が公正に行われるよう支える立場です。審判の存在があつてこそ、選手たちは安心してプレーに集中でき、試合が成立します。その責任の重さを胸に刻みながら、今年度も一試合一試合を大切に裁いていきましょう。

結びとなりますが、今年度も審判員の皆様と共に、一致団結して公正な競技運営に努めてまいりたいと考えております。皆様のご協力とご尽力をお願い申し上げるとともに、本年度が実り多きものとなることを心より願っております。

以上、半自動作成のあいさつ文になります。テクノロジーの発展でここまで自動化できることに驚きました。審判においてもトップレベルではVARやSAOTなどテクノロジーを駆使した運営が広まっています。コンピューターは決められたルールに則り、正確に大量の業務を連続して処理することに長けています。

審判委員会の運営においてもITやAIを活用しながら適材適所にリソースを再配分し、審判員・指導者の皆さまに向けた事業を重点的に展開していくよう考えています。

目次		
審判委員長より	1～2	功労表彰者の紹介 14
2025年度レフェリーニュース発行について	2	レフェリースクール開催 15～16
2025年度 審判委員会 役員紹介	3	今日も地域で頑張っています！！ 17～18
審判委員会各部からのお知らせ	4～5	新規取得講習会(サッカー、フットサル) 18～19
U-13選手権決勝審判表彰	6～8	2025年度の障害保険について 19～20
チバテレ旗争奪U-12大会決勝審判表彰	9～12	2025Jリーグスタンダード 21
昇級・認定審査合格者のお知らせ	12～14	編集後記 22



## 2025年度のレフェリーニュースWEB発行について



- ・当委員会で発行しているレフェリーニュースは現在、4月号・7月号・10月号・翌1月号の年4回発行しております。
- ・今年度(2025年度)のレフェリーニュースの発行は、これまでと同様に4月号・7月号・10月号・翌1月号の全てが審判委員会のホームページへの掲載のみとなります。(WEB発行のみ)
- ・重要なお知らせ(更新講習会情報等)を掲載した場合はKICK OFFからのメール等を使用してその都度、お知らせする予定です。
- ・今後も皆様に講習会情報等の有用な情報を迅速にお伝え出来るように努めて参りますので、何卒、宜しくお願い申し上げます。



# ～ 2025年度 審判委員会 役員紹介 ～

委員長	副委員長
堀川 栄多	五十嵐 泰之

部署と主な業務内容	部長	副部長	メンバー(順不同)
<b>サッカー統括部</b> ～派遣審判員の 카테고리 検討や、アセッサー派遣を行います～	村上 匡		上田 千尋 牛尾 眞一郎 河合 英治 木原 裕之 曾我 文宏 堀川 栄多
<b>普及部</b> ～新規/更新講習会や昇級審査の運営を行います～			実方 洋一 真殿 定幸
<b>育成部</b> ～審判員育成のための研修会を行います～	木原 裕之	今 武司	清水賢 一郎 柿沼 輝信 片桐 正広 柳澤 健太 サポートメンバー 浅田 武士 大川 直也 清水 勇人 柘植 政宏 瀨上 祥太
<b>強化部</b> ～強化審判員の指導を行います～			村上 匡 村上 勝則
<b>女子部</b> ～女性審判員の発掘、育成、指導を行います～	上田 千尋		池田 朋代 宍浦 智子 千葉 恵美 彦坂 由樹子 松岡 恵美子
<b>フットサル&amp;ビーチサッカー部</b> ～フットサルやビーチサッカーに関する事全般を担当します～			木村 拓 中村 翔
<b>指導者部</b> ～インストラクターの育成、講習会等への派遣を行います～	牛尾 眞一郎		石垣 雄市 石原 美彦 大勝 雅禎 小栗山 浩史 宍浦 智子 柘植 政宏 中山 雅之 袴田 倫 松川 将久 村上 勝則
<b>割当部</b> ～試合に派遣する審判の割当業務を行います～			曾我 文宏
<b>財務部</b> ～審判委員会の予算管理を行います～	櫻田 雅裕		
<b>総務部</b> ～広報、保険、その他ほかの部に属さない業務を行います～	長谷川 鉄哉		長田 晃 金子 秀之 高野 祐介 田口 雄一 中山 達良 瀨上 祥太
<b>レフェリーアカデミー</b> ～若手審判員の育成・強化を行います～			河合 英治

※審判委員会の業務について問い合わせ:総務部メール

cfarc.somu@gmail.com





## 普及部からのお知らせ

### ☆ サッカー3級審判員昇級審査実施要項(2025 年度改定) ☆

本年度より、サッカー3級審判員昇級審査の要項を一部改定しました。多くの方々のチャレンジを期待しています。要項は以下のとおりです。

#### 1. 資格審査の条件

- (1) サッカー4 級審判員として登録されていること。
- (2) 次年度の「更新講習会の申し込み(更新手数料の振込)」を行っていないこと。

#### 2. 1次審査(書類審査) ※審査書類をメール送信(又は郵送)してください。

- 参加申込書の提出(千葉県サッカー協会審判委員会 HP よりダウンロード)
- 実技審査(審判実績の提出)  
レフェリーダイアリー又はレフェリーノートのコピー

5 試合以上(主審 1 試合/副審 1 試合以上)

(4種の試合は1日2試合までは実績を認め、3試合以上はカウントしません。)

#### 3. 2次審査(筆記試験、フィットネステスト)

- 筆記試験 80 点以上合格(但し、補講・再試にて合格とする場合がある。)
- フィットネステスト(インターバル走)  
75mランニング(25 秒)―25mウオーキング(30 秒)×20 本連続  
(1 本のミスは追加して走ることができる)



※2次審査合格者は、審査終了後に講義講習を受講のこと。

※筆記試験合格点未達で一定の基準点を満たした受験者に対しては、上記の講義講習後に「補講並びに再試」を実施します。

普及部長 実方

## 割当部からのお知らせ

### ☆ 審判割り当てを受けてみませんか? ☆

現在3級審判員として活動されている方で、「審判が楽しい、もっとうまくなりたい!」でも、子供が成長して活動場所をどうしよう?等とお困りの方はいらっしゃいませんか?(公社)千葉県サッカー協会審判委員会では、選手により良いゲーム環境を提供するために、派遣審判活動にご協力いただける方を探しています。

最初は自信がなくても、大丈夫!3種(中学生)の副審など、無理のない試合から始めて経験を積んでいただき、審判スキルや試合レベルをアップしてみませんか?やる気のある方には、どんどん割当をしていきます。

千葉県内では多くの試合に審判を派遣しており、派遣先では様々な審判員とコミュニケーションが取れ、今後の活動に生かれます。また、研修会や勉強会も随時行っていますので、心配する事はありません。

詳細に関しては、割当部の曾我(fs068913@yahoo.co.jp または、070-5547-5132)までご連絡ください。是非、ご連絡お待ちしております!

### ☆ 派遣審判員の皆さまにお願い ☆

2025年度も各種別で多くの試合が予定されており、割当部としても迅速で的確な審判員の派遣をしたいと思っています。ついては、以下に留意頂きスムーズな進行にご協力をお願いします。

- ① 可能な限り、月初迄に翌月の可能日を入力して下さい。(平日可能日があれば、それも入力願います)
- ② 可能日に変更が生じた場合は、各自では修正できませんので、その都度必ず変更内容を割当部の曾我(fs068913@yahoo.co.jp)まで連絡して下さい。(緊急の場合は、他の割当部員でも対応可能です)
- ③ 割当を依頼されたら、3日以内に速やかに諾否を入力して下さい。(普段のメールチェックをこまめにお願いします。)

- ④ KICKOFFから最終確認依頼メールが届いたら、必ず割当内容を再確認して下さい
  - ⑤ 主審を担当した場合、必ず審判報告書をKICKOFFへの登録により提出して下さい。
  - ⑥ その他の詳細、キャンセルや直前の変更、緊急事態が発生した時などについては、毎月KICKOFFから配信される可能日入力依頼のメールを参照してください。
- よろしくお祈いします。

割当部長 曾我

## 総務部からのお知らせ

### ☆ コンプライアンスについて ☆

#### コンプライアンスとは？

「法令順守と、その組織の倫理に従った行動」とをとらう事で、審判活動で言えば、例えば集合(マッチミーティング)の15分くらい前には余裕をもって到着するなど遅刻は厳禁ですし、試合中に選手やコーチ等に対するの言動や態度についても責任をもった行動が要求されます。また、審判員でしか知りえない事を公にする事も禁じられています。

私たちは試合があるからこそ審判が出来るのであって、「審判してやっている！」というような高飛車な態度や、選手等をリスペクトしない事は、コンプライアンス上よろしくない行動です。

#### 特にSNS等の情報発信に注意！

県協会からの割当情報や担当する試合の情報、試合内容に関する事など「誰がどの審判をしていたか」などは絶対に載せない事、試合内容の評価やレフェリングの感想等もどこで、どう拡散するか？わからないので、写真なども含めて絶対に載せないでください。

個人的に依頼された試合などは個人の判断ですが、その時の写真などは著作権や写っている選手等の肖像権にも注意が必要です。必ず掲載して良いか？主催者や本人に確認してください。

#### 個人情報について

割当部からの確定した試合の割当表には、緊急用のために審判員個人や主催者の携帯番号が入っています。例えば、交通渋滞等でマッチミーティングに遅れそうな時など、緊急に連絡が必要な時用ですので、取扱には十分注意を！紛失も同様です。割り当て終了後は確実にシュレッダー等で処分してください。

### ☆ レフェリーニュースを活用しましょう ☆

#### 2025年度もレフェリーニュース(年4回)はWebでの配信のみとなります

千葉県サッカー協会のHP⇒「審判」⇒「Data Box」⇒「Referee News」に掲載し、過去の記事(2024年度以前)も一覧で掲載し閲覧可能です。

審判が楽しい！真剣に取り組んでみよう！と思える内容を多く載せ、「地域でがんばっています」や「ユース審判員紹介」など、帯同審判員から派遣審判員にトライする方や、若手審判員が多く出てくる事を期待しています。

「地域で頑張っている」紹介したい審判員や、審判員として楽しいコミュニティ等があればご紹介ください。例えば、4種の各ブロックが主催する大会で主管部から指定された方々、各市の審判部会から派遣された方々、地域やチームの招待試合において数名で審判を担当する方々など、また「こんな名物審判がいる！」など、紹介したいレフェリーなど情報をいただければ、総務部が取材に行きレフェリーニュースに掲載します。

また、「こんな内容が欲しい！」などご意見がありましたら総務部のメールcfarc.somu@gmail.comにお願いします。

総務部長 長谷川

～2025年度もよろしくお祈いします～



# 令和6年度 第28回 千葉県ユース (U-13) サッカー選手権大会 決勝戦

2025年2月24日(月・祝)10:00キックオフ フクダ電子フィールド

プリオベッカ浦安U-15 0(0-1,0-0)1 VITTORIAS FC

R:黒澤 航介氏、AR1:小松 駿太朗氏、AR2:川村 空生氏、4th:木村 怜旺氏(文中敬称略)

3種のU-13年代最高の舞台である「千葉県ユース(U-13)選手権」の決勝戦を終えた審判団にインタビューを行いました。



(左から 川村さん、黒澤さん、木村さん、小松さん)

入場シーン(2025年6月30日まで掲載)

[https://drive.google.com/file/d/1UxgSOOLrXjq5xOK46r4mM7mb6mDZpyJw/view?usp=drive\\_link](https://drive.google.com/file/d/1UxgSOOLrXjq5xOK46r4mM7mb6mDZpyJw/view?usp=drive_link)

**Q : 本日はお疲れ様でした。U-13決勝戦を振り返って感想をお願いします。楽しめましたか？**

黒澤 : 朝も早くて非常に寒く…というのは冗談で(笑)

決勝戦ならではの硬い試合展開でしたが、選手個々の技術やチーム戦術が存分に発揮されておりとても面白い試合でした。

小松 : 凄く楽しめました！貴重な経験をありがとうございます。

川村 : まずは無事に終わってよかったです。今回のような形で、年齢が近い4人が集まってチームを組むことがあまりないので、より一層楽しめました。

木村 : 1点を争う試合展開で緊張感のある試合だったと思います。ほぼ初の4thで交代など少し焦る場面もありましたが、無事試合を終えることが出来て安心しました。

**Q : 皆さま非常にお若いですが、レフェリーに熱心に取り組む**

**きっかけは？**

黒澤 : 元を辿れば、中学生の頃に後輩の役割として練習試合の副審をやり始めたのがきっかけで、数をこなしていくうちに楽しくなり、4級→3級→2級とステップアップしていきました。

小松 : 昨年6月のユース研修会です。生半可な気持ちでは務まらないことを痛感しました(苦笑)。





川村：中学の頃に膝をけがして、そのリハビリとして部活の中で審判をしていたことがきっかけです。元々、審判に対する興味は持っていて、顧問の先生に相談したところ、練習試合で笛を吹かせていただいたり、ユース研修を紹介して下さったりしたので、今でも非常に感謝しています。

木村：サッカー部時代に副審の手伝いをしたことがきっかけです。ボールに触れなくともゲームに参加出来るのが楽しくて始めました。



**Q：木村さん以外は大学生ですが、卒業後レフェリーを続ける環境をどれくらい考えていますか？**

黒澤：社会人1年目、2年目辺りで1級候補として活動したいと目標立てているので、やはり仕事と審判活動を両立できる職場を考えています。(土日休みなど)4月から大学3年生になるので、もうそろそろ動き出さないとイケませんね…。

小松：9割程です。楽しみながらサッカーに関わり続けたいです。

川村：就職する仕事にもよるとは思いますが、トップを目指さなくとも何らかの形でレフェリーは続けていきたいと考えています。



**Q：木村さんから三人にアドバイスなどありますか？**

木村：学業や就職活動との両立は大変かと思いますが、メリハリを持ってやると上手くいくと思います！

**Q：日頃から行っている試合に向けた準備や、試合前のルーティーンがありましたら教えてください。**

黒澤：千葉県屈指のルーティーン男！ってほどルーティーンを大切にしています！(笑)

まずは必ず試合2日前に高強度トレーニングを行っています。(yo-yoテストなど)

また毎日寝る前にストレッチを30分ほど行い、ゆっくりケアしています。試合前日は筋膜リリースやストレッチポールなどを使いコンディションを整えています。気づいたら1時間経っていることも…

当日の朝は米を必ず食べ、意識的に水分を摂ることも忘れず行っています。

詳細が気になる方は黒澤までお気軽に！

「レフェリーニュース黒澤号」の執筆依頼をお待ちしています！(笑)

小松：通学時の電車でルールブックを読むこと、試合前は審判ノートに今日のテーマを書くことです。

川村：高校生の時に右ひざの半月板を切っけてしまい、その影響が出てしまうことがあるので、けがを防ぐためにも特に太ももの筋肉は入念にストレッチやケアをしています。

木村：ジムなどを活用して身体作りを行っています。日々トレーニングを積む選手の皆さんに負けないことを心掛けています。



**Q：県内の若いレフェリーに伝えたい事やメッセージがありましたらお願いします。**

黒澤：「継続は力なり！」「努力は実を結ぶ！」審判活動においてこの言葉を大切にしてほしいです。良くも悪くも努力次第でいくらでも変われます。

私たち審判員が何を求められているのかをしっかりと理解し、自ら行動に移してください。

小松：4級で活動を始めてからまだ1年経たないので、ご一緒した際はアドバイスください…！

川村：県ではユース研修などを通じて若いレフェリーへのサポートも充実しているので、使えるものは使って(笑)、一緒に楽しく活動をできればいいなと思います！私も時々参加しているので、お会いした時は色々お話ししましょう。



木村：いつもありがとうございます。これからもお互い頑張りましょう！



**Q：最後に今後の抱負をお願いします。**

黒澤：関東レフェリーアカデミーに合格し4月から活動が始まりました。また関東Yカテゴリーとしても活動します。より一層の自覚を持ち、千葉県を関東を引っ張る人間になれるよう成長したいと思います。

小松：yo-yoテスト50本以上、カテゴリーCへのアップ、将来的には2級昇級を目指します！

川村：まずは2級に昇級することです！あと数年で社会人というところまで来てしまったので、どうにか両立できる方法を大学生のうちに探しながら、今後も審判活動を続けていければ！と思っています。

木村：2級昇級です。「選手とともにゲームを作る！」を意識して取り組みたいと思います！



《追加の動画》(2025年6月30日まで掲載)

コイントス； [https://drive.google.com/file/d/1oa5iyWoIOdaE8S\\_MuHj\\_vrIf7E0o70kx/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/1oa5iyWoIOdaE8S_MuHj_vrIf7E0o70kx/view?usp=sharing)

試合シーン； <https://drive.google.com/file/d/1VUJuQueq5bu6XlouY4woWjjA4iNQ5Bhb/view?usp=sharing>

ウォーミングアップ； [https://drive.google.com/file/d/1V4YKHNkObiZn17nEEg4wixAmvOxal\\_Lp/view?usp=drive\\_link](https://drive.google.com/file/d/1V4YKHNkObiZn17nEEg4wixAmvOxal_Lp/view?usp=drive_link)

**みなさま、お疲れ様でした！**



# 2024年度 第47回チバテレ旗争奪千葉県U-12サッカー選手権大会 決勝戦

2025年2月24日(月・祝)13:30キックオフ 重兵衛スポーツフィールド中台運動公園陸上競技場  
船橋フットボールクラブ 0(0-1,0-0)1 バディーSC千葉 サックス  
R:中山 雅之氏、AR1:萩野 雅彦氏、AR2:早乙女 大和氏、4th:実方 洋一氏(文中敬称略)

4種のU-12年代最高の舞台である「チバテレ旗大会」の決勝戦を終えた審判団にインタビューを行いました。



(左から 萩野さん、中山さん、実方さん、早乙女さん)

入場シーン(2025年6月30日まで掲載)

[https://drive.google.com/file/d/1cv0SJW\\_04Vjiq1UHakeJKmtOmfX3Yypq/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/1cv0SJW_04Vjiq1UHakeJKmtOmfX3Yypq/view?usp=sharing)

**Q : お疲れ様でした！まずは決勝戦を終えた感想をお願いします。**

中山：審判団として協力出来て、試合を終わらせることができ良かったことが1番です。試合の中では反省すべきところもあり、次に生かしていきたいです。

萩野：緊張感のある試合だったので、ミスは許されないと考えていたので正直ホッとしました。

早乙女：まずは、この決勝戦を無事に終わることができてホッとしています。選手たちは最後まで全力を尽くして、素晴らしい試合を見せてくれました。私たち審判団も公正かつスムーズな試合運営を心がけました。試合中は難しい判定もありましたが、全員がフェアプレーの精神を持ち、最後まで素晴らしい戦いを繰り広げてくれたことに感謝しています。

実方：特に緊張することはありませんでしたが、審判チームとして無事に終わられてほっとしています。



**Q : 早い時間帯でバディーSCが得点してから、なかなか試合が動**

**かなかったですが、レフェリーとして気を付けていた事は？**

中山：4種の場合はDFやGKのパスミスで奪われて大きなチャンスとなる場面が多いので、守備側ボールの際はミスによるカウンターを気に掛けるようにしました。

萩野：両チームとも実力が拮抗していたので、試合が進むにつれて手のファールが多くなるのではないかと考えて気を付けていました。

**早乙女**：得点後もバディーSCのペースで試合が進んでいましたが、試合が進むにつれ徐々にペースをつかんだ船橋FCのカウンターや、ラインの駆け引き、タッチライン際での攻防等常に気を張ってジャッジすることを心掛けていました。

**実方**：攻守の激しい試合でしたので、主審、副審が試合に集中できるよう、プレー以外のところにも気を配りながら監視していました。又、「自由な交代」を妨げることを無いうように気を付けていました。



**Q**：中山さんは2020年の高校選手権決勝以来の決勝審判でしたが、コロナ真っ最中の当時との違いは？

**中山**：2020年は副審として緊張をした中で、主審の方が落ち着いて常に審判団をリードしてもらった記憶です。今回は私が主審ですので審判団をリードできるように努めました。

また、コロナ禍と違い今回バディーSCさんは多くの応援団がいましたのでピンチやチャンスの際に会場全体が盛り上がり、サッカーはこうでないと！と認識しました。



**Q**：中山さん以外は今回初めてのチバテレ旗の決勝審判と思いますが、オフアを受けた時の気持ちと、今日までの準備は？

**萩野**：他の県大会の試合で過去に決勝審判を務めていましたので、気張らずに平常心でいられるよう心掛けていました。そして、極力1日12,000歩以上歩くように心がけて、体重が増えないようにしていました(笑)。

**早乙女**：選手としても参加したこの大会の審判を務めることができとても光栄な気持ちでした。自分は決勝戦まで進むことができませんでしたが、この素晴らしい大会の決勝戦まで進んだ両チームに恥じないよう日々ランニング、トレーニングマッチ等を欠かさず行っていました。

**実方**：実は2013年度、同じこの大会の決勝審判で表彰を受けていました(笑)。(そうだったのですか！？記録が2014年度までしかなく、すみません、) 審判活動を始めて30年になりますが、12年経って又、「ご褒美」かな？(笑)と思いました。また、準決勝では主審の割当てをいただいていたので、体調管理に気を付けていました。

**Q**：皆さま日頃から4種の試合を担当されていると思いますが、8人制サッカー審判の難しさは？

**中山**：4種の難しさになりますが、予期せぬ展開になることや、フィールドが狭いので密集になりがちで審判員がプレーの邪魔にならないことはもちろん、選手とぶつかったりするとケガをさせることもあるので、ポジションは特に気にします。

また、1人審判になるとオフサイドが難しい！日頃の4人制での副審のありがたさと、自分のオフサイドへの意識が低いことを気づかされます。皆さんも是非経験してみてください。

**萩野**：4人制の審判であればあまり難しいとは感じませんが、一人制審判であると動き方が全く違うので、より多くの注意力が必要になります。

**早乙女**：8人制サッカーは攻守の切り替えがとても速く、ボールの行方によるポジショニングの難しさや、フェアプレーを促しながら、過度な接触を防ぐバランスが重要だと思います。

**実方**：県内では、4人制と1人制の審判で行っていますが、やはり「1人制」審判の難しさでしょうか。ポジション取りに苦労します。選手、チーム役員、観客の皆が、「リスペクト」を持った気持ちで見ただけだと嬉しいです。





## Q : 逆に8人制サッカーの良いところは？

中山：4種の場合は8人になることでスペースが広くなり、より得点に近いプレーが多くなるので選手たちも、観客も楽しいと思います。また、審判員として1人審判はすべてを見ないといけないので考えることが多くなり、4種とは言え、とても勉強になります。

萩野：選手にとってはボールを触る回数が増えるので、力が付くと思います。また、気軽に試合に臨めるのではないかと思います。また、セルフジャッジ的な要素も強いのでリスペクトの気持ちも強くなると思います。

早乙女：「試合を裁く」だけでなく、「サッカーの楽しさを伝える役割」も果たせるのが8人制審判の魅力だと思います。

実方：「自由な交代」に尽きると思っています。もっともっとベンチにいる選手に出場の機会を与えて、選手全員がサッカーを楽しんでもらえれば！と思います。グリーンカードを示して選手が「ニコッ！」っとしてくれるのも好きな一瞬です！



## Q : 最後に永く審判活動している、辞められないレフェリーの魅力をお聞かせください。

中山：サッカーの審判は試合を通して動き、判断を求められるのでゲーム性があることが、私の中で楽しく続けている理由だと思います。また、審判を通して多くの方と知り合えて、審判活動以外でも成長できたことが、人生を豊かにできていると思っています。

是非、見かけたら気軽にお声がけください(笑)。

萩野：レフェリーを継続することで、体力の維持が最低限必要となりますね。審判活動を続けるために、日頃から準備することを心がけることにより健康になることですかね。それとお酒がおいしいことかな！(笑)

早乙女：子どもたちが成長する大切な場だからこそ、公正でわかりやすいジャッジが求められますが、グリーンカードを提示した時の子どもたちの笑顔はこちらも笑顔になり、大人も子供もないお互いをリスペクトできた瞬間が一番の魅力です。

実方：担当した試合を振り返れば、又、課題が見つかる(見つかってしまふ(笑)・・・)ことで、次に繋がってしまう？ことです。だから「やめられないんです！！」(笑)。次の10年は体力の続く限り、走り続けたいと思っています。



### 《追加の動画》(2025年6月30日まで掲載)

コイントス; <https://drive.google.com/file/d/1Vd3MY7bDZokiPWcGdUHpdCOJ9gnEMWvw/view?usp=sharing>

試合の様子1; <https://drive.google.com/file/d/1WFFIzVhnlLO5uQPtt5fAcc5kzGnCaJnV/view?usp=sharing>

試合の様子2; [https://drive.google.com/file/d/1WJjYrJmJx---4xwuPue6XGscOSQ4VS\\_1/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/1WJjYrJmJx---4xwuPue6XGscOSQ4VS_1/view?usp=sharing)

終了後挨拶; [https://drive.google.com/file/d/1hBrxv7DXBRxUTUqFvxqTftPceOA\\_1TVd/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/1hBrxv7DXBRxUTUqFvxqTftPceOA_1TVd/view?usp=sharing)

表彰式; <https://drive.google.com/file/d/1W4ehSjOSg7YhBNVqKi1Twyn4G6lN-Wb/view?usp=sharing>





みなさま、お疲れ様でした！

**昇級・認定おめでとうございます！**

**昇級・認定審査合格者のお知らせ**

**【サッカー3級】(順不同、敬称略)**

女子部主催(8名)

阿部 ほのか 天野 結生 柄澤 はな乃 佐藤 千優 鈴木 董 須藤 美羽  
千葉 美祿 森 早苗

**サッカー3級昇級者よりコメント**

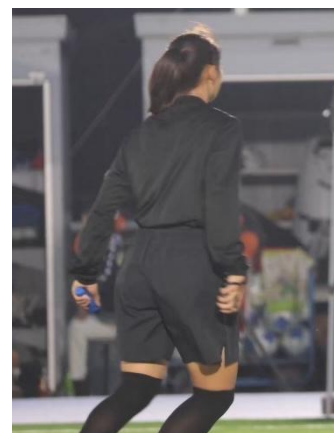
阿部 ほのか(あべ ほのか)

審判になろうと思った動機は、サッカーをプレーする上でルールをしっかりと理解することが、自分の成長につながると考えたからです。選手としてプレーしているだけでは、どうしても曖昧な部分が残ってしまうため、より深くルールを学びたいと思いました。



講習会では、基本的なルールから細かな判定基準に至るまで、丁寧に教えていただきました。1 から 100 までしっかりと学ぶことができ、これまで知らなかったルールが多くあることに驚かされました。特に、細かいファウルの基準や、審判の立ち位置によって見え方が変わることなど、プレーヤー目線では気づけなかった部分を知ることができ、とても勉強になりました。

小さい頃からサッカーを続けてきたものの、自分が思っていた以上に知らないことが多かったことを実感し、改めてルールの重要性を感じました。審判の立場を経験することで、プレーヤーとしての視野も広がり、よりフェアなプレーを心がけるようになりました。今後も学んだことを活かし、サッカーに関わっていきたいと考えています。





### 天野 結生(あまの ゆうき)

私が審判活動を始めたきっかけは高校進学時にサッカーを続けるか迷っており、その時マネージャーや審判として活動すればサッカーに関わり続けられると思ったのがきっかけです。その後、中学のサッカー部顧問の先生や高校のサッカー部顧問の先生に色々ご指導頂き、活動をしていくうちに昇級してもっと幅広い試合に挑戦したいと思い、3級昇級を目指しました。元々覚えるのがすごく苦手で昇級難しいかな!?とと思っていましたが、ひとつずつ場面と言葉を理解していくうちに、少しずつ覚えられるようになりました。

私は審判を始め、ルールを知っていくうちに、以前サッカーをプレーしていた頃とは違う視点から試合を観るようになり、とても自分の世界観が広がったと感じました。

今後は自分の課題と向き合い、たくさんの経験を積んでいきたいと思っており、また、昇級をしてもっと色々な試合や選手に出会ってみたいと思っております。



### 【フットサル3級】(敬称略)

平島 勉

### 【インストラクター3級認定】(順不同、敬称略)

長谷川 翼	長谷川 鉄哉	入江 夕梨花	日出山 克彦	佐々木 大輔	小田原 吉克
柳澤 健太	渡部 英司	堀野 伸也	岸本 彰彦	高崎 昂史	小室 幹生
永安 秀充	藤崎 翔平	山下 晋也			

### インストラクター3級認定者よりコメント

#### 永安 秀充(ながやす ひでみつ)

この度、サッカー3級審判インストラクターに認定していただきました、永安 秀充と申します。

千葉県高校サッカーの指導者として15年間携わらせていただき、生徒一人一人が卒業後に様々な形でサッカーに関わってほしいと思うようになりました。その中に審判としての道もあることを、地域の高校生に伝えていきたいと思い審判員指導者を志望しました。私自身も高校サッカーの審判をしており、試合に関わる全ての人が気持ちよく試合終了を迎えられるように努めています。地域の高校生からそのような気持ちをもって審判員が育っていったらいいな!と思っています。

今後ともご指導・ご鞭撻よろしくお願いたします。



#### 柳澤 健太(やなぎさわ けんた)

この度サッカー3級インストラクターに認定されました柳澤です。

今後は、現役審判員とインストラクター両面から千葉県のサッカーに携わらせていただくと考えております。

インストラクターの資格を取得しようと考えたきっかけは、幸いに現役審判員として千葉県・関東で活動の機会をいただきました。ご指導いただいた方、かかわっていただけた方々、誠にありがとうございます。そこで得た知識・経験を千葉県内にフィードバック出来たら!と思っています。

会場ではインストラクターと審判という、今までとは違った立場でお会いすることもあるかと思いますが、一緒に千葉県のサッカーを盛り上げましょう。





### 長谷川 翼(はせがわ つばさ)

この度、サッカー3級審判インストラクターに認定されました長谷川 翼(はせがわ つばさ)と申します。普段は千葉県高体連の大会での審判割当などを担当したり、部活動の顧問としてサッカーの指導をしたりしています。サッカーの審判は、高体連大会での審判員のほか、2022年に審判3級を取得し2023年から本格的に活動を始め、まだまだ勉強したいことばかりです。

自分は審判活動を通してサッカー審判員の魅力に気づきました。この魅力を高校生に伝えていき、サッカー審判員の仲間を増やしたいという想いで活動していきます。高校生たちとともに、自身もスキルアップし続け、成長していきたいです。

### 日出山 克彦(ひでやま かつひこ)

この度、千葉県サッカー3級審判インストラクターに認定されました日出山と申します。

さて、自己紹介として千葉市にある4種のクラブの指導者とし日々活動している傍ら、U-12リーグや4種各年代の県、市の公式戦の審判の担当をしています。その審判活動の中で魅力を感じる瞬間は、その試合、そのジャッジに対し、利害のある両チームの選手、ベンチ、観客と一体になれたときに思います。そのためにも毎年更新される競技規則を読み返しては深耕し、その瞬間のために日々準備・研鑽しています。

今後は、微力ながら審判のその魅力を伝えていきたいと思っていますので、担当した際はどうぞよろしくお願い致します。

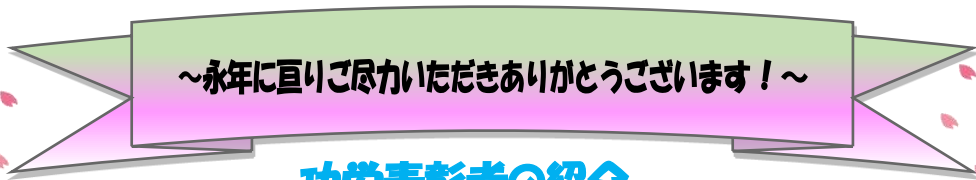


### 入江 夕梨花(いりえ ゆりか)

このたび、SI3に認定いただきました入江夕梨花と申します。千葉市4種審判部の3名で学び合い、励まし合いながら合格することができました。

千葉市4種審判部では、市内で審判されている皆さんを支援し、公式戦での活躍を目指した実技認定を行っています。審査を行う私たちも、競技規則を学び続け、リスペクトを持って取り組むことを大切にしています。インストラクターとして定期的な勉強会や講習会に参加し、スキルを高め続けることに魅力を感じ、この資格を取得しました。

女性審判として、女子選手がさらに輝けるよう応援するとともに、小学生たちがサッカーを楽しみながら成長できる環境づくりにも貢献していきたいと考えています。これからもどうぞよろしくお願い致します！



～永年に亘りて尽かいただきありがとうございます！～

## 功労表彰者の紹介



今後も増々のご活躍を祈念いたします！！

≪30年表彰者≫(敬称略・順不動)

小林 利男、西本 滋一、  
高山 武之、大浦 浩二

≪20年表彰者≫(敬称略・順不同)

畑田 浩一、新井 雄次郎  
茅野 祐一、市ノ瀬 勝治

2025年5月10日(土)に表彰式を予定しています。

場所：千葉市内を予定

時間：審判委員会全体会議の後に17時30分頃からの予定

場所と時間が正式に決まりましたら表彰者に連絡します。

※10年表彰者には後ほど「記念トスコイン」を送付します。



# レフェリースクールを開催しました

審判委員会・育成部

☆開催日：2025年1月11日～2月9日(毎週土曜日・日曜日)☆

本年度のレフェリースクールが1月11日から2月9日までの期間、毎週土日連続で実施されました。今回の研修は宿泊研修形式を採用し、実践と座学を組み合わせた充実した内容となりました。



カテゴリー  
B・C 対象 レフェリースクール宿泊研修開催

## ☆研修対象者☆

研修にはカテゴリーC・Bの皆さんを中心に参加申し込みを受け付けました。また、12月の市原招待に参加された一部のカテゴリーDの皆さんにもご参加いただきました。指導者は3級インストラクターを中心に割り当て、さらに指導者にはアドバイザーを割り当てました。審判員は指導者からフィードバックを受け、指導者はアドバイザーからフィードバックを受けることで、審判員・指導者双方のスキルアップを目指しました。

## ☆宿泊研修の流れ☆

土曜日は県民大会、日曜日は1種選手権の試合を利用しての実践研修を行いました。試合終了後にはフィードバックを実施し、その後宿泊先のホテルへ移動して座学研修を行いました。研修では当日撮影した試合映像を使用し、具体的なケーススタディを通じて理解を深めました。



## ☆夜間・翌日の研修☆

宿泊者は夕食後も引き続き研修に取り組み、ディスカッションを交えながら審判技術の向上を目指しました。翌朝は朝食後に各自試合会場へ移動し、1種選手権の試合後にフィードバックを実施。実戦を通じた学びと座学を組み合わせたプログラムで、審判技術を総合的に向上させる貴重な機会となりました。

## ☆参加者の声☆

### 小松 駿太郎さん

すごく充実した研修会でした。自分の武器となる良い点と、改善すべき点を見つけることができ、多くの方からのフィードバックがより良いレフェリングにつながると感じました。宿泊した週のみならず、割当を含め毎週参加させていただき、非常に良い経験になりました。

まだ主審経験が3試合しかない中で、社会人カテゴリーの試合を担当する機会を得られたことはとても貴重でした。4級で活動を始めてからまだ1年経ちませんが、2級昇級や更なる目標を持つきっかけになりました。ありがとうございました。

### 安井 光一さん

審判活動として初めて宿泊研修を経験しました。申込案内を見たときに『宿泊』と知り、申し込みを躊躇しましたが、毎年楽しみにしている1~2月の研修だったので、申し込まずに後悔したくないと思い、思い切って申し込みました。

結果として、とても充実した2日間になりました。インストラクターの皆様、一緒に試合を担当して下さった皆様、一緒に研修に参加した皆様には心から感謝しています。この経験を活かし、若い方々に置いていかれないよう頑張っていきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

### 中山達良さん

今回の研修は、実践→振り返り→夜の座学→実践→振り返りと、2日間審判漬けの体験ができました。夜の座学では当日の動画を見ながらレフェリング(特に動き出しなど)の理解を深め、すぐ翌日に実践(千葉県天皇杯予選)でチャレンジできたことが良かったです。

これまでのレフェリングでは意識していなかった点に目を向けることで、動き出しだけでなく、目線・体の向き・ポジショニングの課題を実感しました。また、自身の映像を繰り返し確認することで、反省点を洗い出し、今後のレフェリング向上につなげていきたいと考えています。スタッフの皆様には、寒い中1日中ご対応いただき、本当にありがとうございました。

### 本多太郎さん

宿泊形式の研修会に参加しました。普段は試合会場での短時間の会話が中心になりますが、夜の時間もあることで、より深く充実したディスカッションができました。

試合会場では、他の研修参加者や審判員のレフェリングを見て学ぶだけでなく、自分自身も見てもらうことで、さまざまな意見をいただくことができました。とても貴重な機会となり、今後もぜひ参加したいと考えています。ありがとうございました。

研修会の様子







## 今日も地域で頑張っています！！

～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～

2025年2月11日(火・祝)、2月16日(日)

千葉県シニア選手権'25 予選リーグ

～天台サッカー場、岩名運動公園球技場～



千葉県内では様々な大会が開催されていますが、そこで日頃から活躍している審判の方々にスポットを当てて取材しました。今回は千葉県シニア選手権で派遣審判員として頑張っている皆さまにインタビューをしました。

- |                   |                          |                |
|-------------------|--------------------------|----------------|
| ①：氏名(敬称略)         | ②：審判歴                    | ③：審判になったきっかけは？ |
| ④：審判活動で印象に残っていること | ⑤：これだから審判は辞められない審判の魅力とは？ |                |



- ①：小杉 益朗(こすぎ ますお)  
 ②：約40年です。  
 ③：中学・高校(市立船橋)時代にサッカーを行っていた事も有り、審判に興味を持ちました。選手に迷惑をかけないための運動量の確保と、私自身の体力維持強化の為、日々のトレーニングを継続して行う事が出来る事で、70歳の現在も継続して活動しています。  
 ④：千試合以上審判を行っていることもあり、雷での中断中止や社会人3部リーグでの喧嘩の仲裁、社会人の試合(90分)を1日2試合行った等、多くの経験が出来た事で、大きな怪我も無くゲームをコントロール出来ている事ですね。  
 ⑤：つい最近の事です、昨年11月にU-13関東1部リーグ柏レイソルAA.TOR 対 東京ヴェルディの対戦で、負けた東京ヴェルディの数名の選手からと監督から「ナイスレフェリー！」と言われた事です。良く走り、選手から信頼されるゲームコントロールが出来た時が辞められない魅力です。

- ①：本多 太郎(ほんだ たろう)  
 ②：約4年です。  
 ③：トップレベルのサッカーに携わりたいという思いがありました。中学時代にじゃんけんて負けてやった副審が楽しかった記憶があり、審判を通して上を目指したいと考えるようになりました。  
 ④：スーパーゴールを最高の位置から見る事ができるのは、非常に印象に残っています。これを見ることが出来るのも、審判活動のやりがいの1つだと思います。  
 ⑤：個人的には、「この試合、主審の自分は要らないんじゃないか!？」と思うくらい、両チームの皆さんが試合に集中している時です。それが本来のサッカーの姿でもあると思いますし、そういった試合を多く作ることができるよう努めています、そう簡単にはいかない悔しさやもどかしさもまた、審判の魅力だと思います。



- ① : 信田 英孝(のぶた ひでゆき)
- ② : 2015年3月に取得したのでちょうど10年になりました。
- ③ : 息子が小学生チームに所属することになり、試合を観に行ったらコーチの方々が「試合→審判→試合」と休むことなく動いているのを見て驚いたのを覚えています。何か手伝えないかと、声を上げたら審判資格の取得を勧められたのがきっかけです。
- ④ : 昨年の事ですが、3種の試合で両チームの選手に息子が所属していた小学生チームのチームメイトが何人もいたことがありました。試合開始前の握手でお互いに驚いたのを覚えています。もう一つは、初めて担当した1種の試合で判定が中途半端となり、試合が荒れてしまったことです。今でも時折思い出して反省しています。。
- ⑤ : スタンドよりベンチより一番近い場所でサッカーに関われることですね！試合毎に何かしらの反省点があり、クリアできたと思っても新たな課題が見つかる。レベルアップに終わりが無く、やり込み要素が強いことも魅力だと思っています。また、審判活動を通じて年代、バックボーンなど、様々な方との出会いと学びがあることも辞められない魅力の一つです。



## 2025年度4級審判員新規取得講習会のお知らせ(サッカー)

(公社)千葉県サッカー協会主催の講習会を掲載します。

この講習会は、現地に集合して行う対面式の講習会です。詳しくは審判委員会ホームページのWeb申請と講習会案内をご覧ください。

お申込みはすべてKICK OFF(JFAのページ)から行ってください。

なお、駐車場は有りますが、千葉県総合スポーツセンターの行事によっては駐車ができない場合があります。できるだけ公共交通機関を利用してご来場ください。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集定員	駐車場	講習会費
5月11日(日)	9:30 ~10:00	10:00 ~16:00	講義	スポーツ 科学セン ター 第1 研修室	千葉都市モル ール(2号線)ス ポーツセン ター駅	150人	有り	一般 ¥7,200  ユース ¥1,550
5月25日(日)	9:30 ~10:00	10:00 ~16:00						
6月8日(日)	9:30 ~10:00	10:00 ~16:00						
6月22日(日)	9:30 ~10:00	10:00 ~16:00						
6月29日(日)	9:30 ~10:00	10:00 ~16:00						
7月13日(日)	9:30 ~10:00	10:00 ~16:00						
7月26日(土)	9:30 ~10:00	10:00 ~16:00						



## 2025年度4級審判新規取得&各種講習会のお知らせ（フットサル）

（公社）千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、インターネットをご利用頂ける方は、『Kickoff』でご確認下さい。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
5/18 （日）	9:30～ 10:00	10:00～ 17:00	講義	スポーツ科学センター 3,4研修室	千葉市モノレールスポーツセンター駅	50人	有り	一般、ユース
7月	大会日程変更で中止							
3/1（日）	9:30～ 10:00	10:00～ 17:00	講義	スポーツ科学センター 3,4研修室	千葉市モノレールスポーツセンター駅	50人	有り	一般、ユース

### フットサル3級審判昇級試験、フットサル2級予備試験

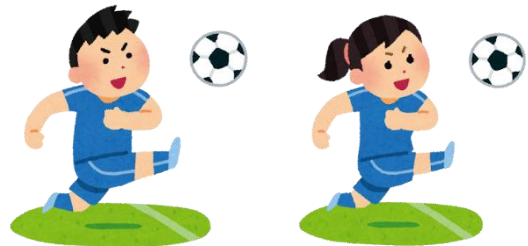
2025年4月27日

申し込み開始 3/18～4/7

書類の提出締め切り 4/21

会場大網白里アリーナ 15:00～21:00

※詳細はWebの方にアップします



## 2025年度審判員関係者対象の傷害保険について（お知らせ）

（公社）千葉県サッカー協会審判委員会では、審判活動を行っていただく皆様の、活動中におけるケガや熱中症などの方が一に備えた保険を2025年度も契約しています。2023年度からは保険適用される活動を明確にするため、（公社）千葉県サッカー協会（以下『県協会』という）が主催（開催）する各種大会の全ての試合ではなく、**基本的に県協会から依頼を受けた活動を対象**とし、詳細は以下となります。事故があった際には、下記の説明をご確認の上、担当者までご連絡ください。

### 保険適用がなされる活動例

- 県協会審判委員会から派遣依頼を受けた審判活動
- 県協会審判委員会から派遣依頼を受けたアセッサーおよびインストラクター活動
- 県協会が主催する審判資格新規取得および更新講習会参加
- 県協会審判委員会が開催する昇級試験および昇級予備試験参加
- 県協会審判委員会が開催する各種研修会での活動（実技・講義共。スタッフ含む）
- 県協会審判委員会の各種会議および活動参加
- 県協会審判委員会から依頼を受けた審判アテンド等の業務
- 県協会審判委員会より選出を受けた者が、県協会から出席依頼された各種会議参加

### 保険適用されない活動例

- × 県協会が主催（開催）する各種大会でも、県協会審判委員会より派遣依頼を受けたものではない審判活動
- × 県内各地域協会や、クラブが主催する各種大会や練習試合での、県協会審判委員会より派遣依頼を受けたものではない審判活動
- × 県内各地域協会及び種別が開催する審判資格新規取得および更新講習会参加

### 保険が適用される症例等

- 活動のための往復途上のけが・特定疾病
  - 審判中のけが・特定疾病
  - 上記のけが・特定疾病により入院した  
(特定疾病・・・心筋梗塞等の急性心疾患、急性脳疾患、急性呼吸器疾患、細菌性食中毒、熱中症、低体温症、脱水症)
- ※宿泊を伴う活動については、特定疾病は補償の対象外となります。

### 次のような場合等は、保険が適用されません。

- × 本人の故意または重大な過失によるもの
  - × 本人の自殺行為、犯罪行為または闘争行為によるもの
  - × 本人の麻薬、あへん、大麻、覚せい剤またはシンナー等の使用によるもの
  - × 本人が無資格運転中、または酒酔い運転中の事故
  - × 他覚症状のない本人の感染症
  - × 頸部症候群(むち打ち症)及び腰痛で自覚症状しかないもの
  - × 本人の妊娠、出産または早産
  - × 戦争その他の変乱、放射能汚染等
  - × 行事開催日の直前12か月以内に医師の治療を受け、または治療のために医師の処方に基づく服薬をしていた疾病と医学的に因果関係のある急性心疾患・急性呼吸器疾患
- ※宿泊を伴う活動については、上記のほか地震・噴火またはこれらによる津波を原因とする事故や、脳疾患・疾病または心神喪失に起因する事故等についても補償の対象外となります

### 《別表1・通常の活動の保険金額》

補 償 種 別		保険金額 (最高)	
災害死亡補償	(傷害)	500万円	
	(疾病)	500万円	
後遺障害補償	(傷害)	500万円	
	(疾病)	500万円	
療養補償	入院日額	(傷害)	3,000円
		(疾病)	3,000円
	手術(傷害・疾病)		手術の種類により、各入院日額の10倍、20倍、40倍
	通院日額	(傷害)	2,000円
(疾病)		2,000円	

### 《別表2・宿泊を伴う場合の保険金額》

保障項目	保険金額 (最高)
死亡・ 後遺障害	1,000万円
入院日額	5,000円
通院日額	3,000円
賠償責任 携行品損害 救援者費用 留守宅損害	補償しない



本件に関するお問い合わせ先

審判委員会 総務部 保険担当 長谷川  
☎ 070-5595-5142  
E-mail cfarc.somu@gmail.com



# ～2025 Jリーグレフェリングスタンダードについて～

日本サッカー協会(JFA)審判委員会は、本年度もJリーグと共に、選手に求めるプレーや昨シーズンの事例に、FIFAの競技規則に基づく解説を加えた「2025 Jリーグ レフェリング スタンダード」の映像を作成しました。

この映像は、Jリーグおよびサッカーに関係する多くの方々が、正しい競技規則の解釈と判定基準の認識を高め、同一の理解を得られるように作成したものであり、Jリーグ全クラブおよびメディアの方々をはじめとする多くの関係者にも共有されているものです。(JFAホームページより)

映像を使って分かりやすく解説していますので、ビデオを観てご自身のレフェリングに生かしていきましょう。

## 2025 Jリーグ レフェリング スタンダード

- ① 選手生命を脅かすチャレンジ
- ② ハンドの反則
- ③ オフサイド “インパクト”
- ④ 競技者の安全への対応

千葉県が誇る  
PRの写真が！！

↓画像をクリックするか、以下のURLよりご覧ください。

## 2025 Jリーグ レフェリングスタンダード



公益財団法人日本サッカー協会 審判委員会

JFAのニュース

<https://jfa.jp/referee/news/00034787/>

YouTubeで見る

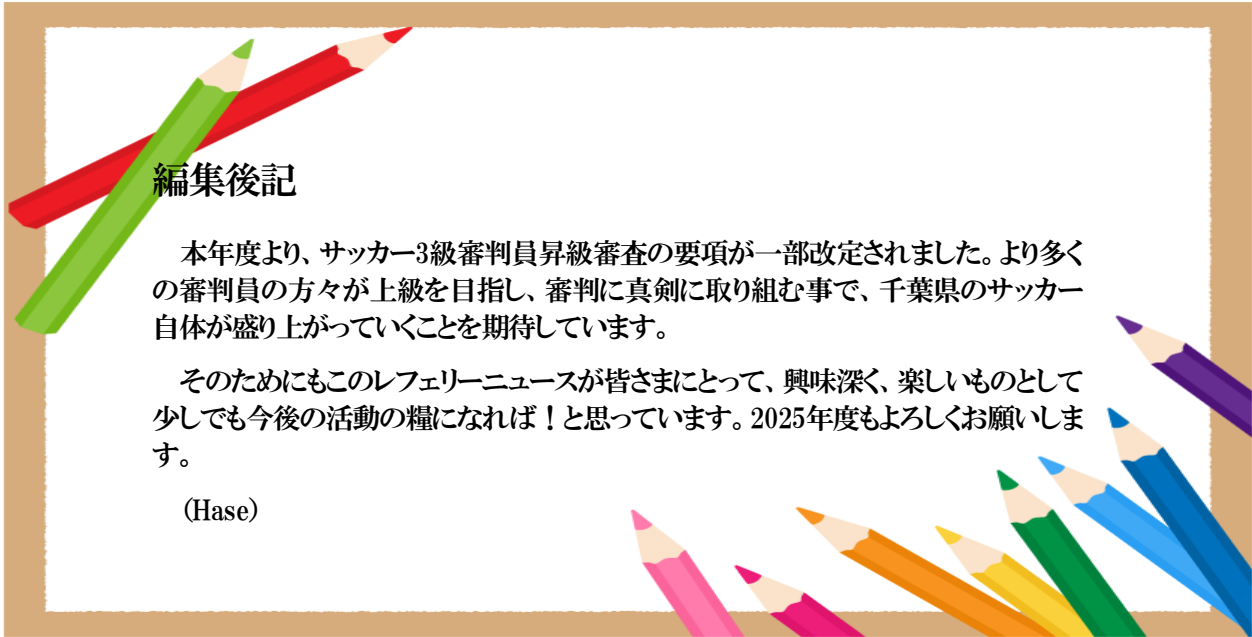
<https://www.youtube.com/watch?v=JaZIOJOfwo>



## 広告主さま募集しています

- 千葉県内約1万名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。
  - 募集枠は、1枠(1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。
  - この枠が1枠の大きさの目安です。
- 詳細、お申込みは(公社)千葉県サッカー協会事務局  
(TEL [043-310-4888](tel:043-310-4888))にご連絡をお願いいたします。





## 編集後記

本年度より、サッカー3級審判員昇級審査の要項が一部改定されました。より多くの審判員の方々が上級を目指し、審判に真剣に取り組む事で、千葉県サッカー自体が盛り上がっていくことを期待しています。

そのためにもこのレフェリーニュースが皆さまにとって、興味深く、楽しいものとして少しでも今後の活動の糧になれば！と思っています。2025年度もよろしくお願ひします。

(Hase)

高野 祐介	E-mail : <a href="mailto:cfarc.somu@gmail.com">cfarc.somu@gmail.com</a> 
長谷川 鉄哉	
淵上 祥太	
金子 秀之	
公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会	<a href="https://chiba-fa.gr.jp/13judge/">https://chiba-fa.gr.jp/13judge/</a>

# Facebookもチェック

[千葉県サッカー協会 審判委員会\(発信専用\) - ホーム | Facebook](https://www.facebook.com/ChibaFA.rc)

<https://www.facebook.com/ChibaFA.rc>